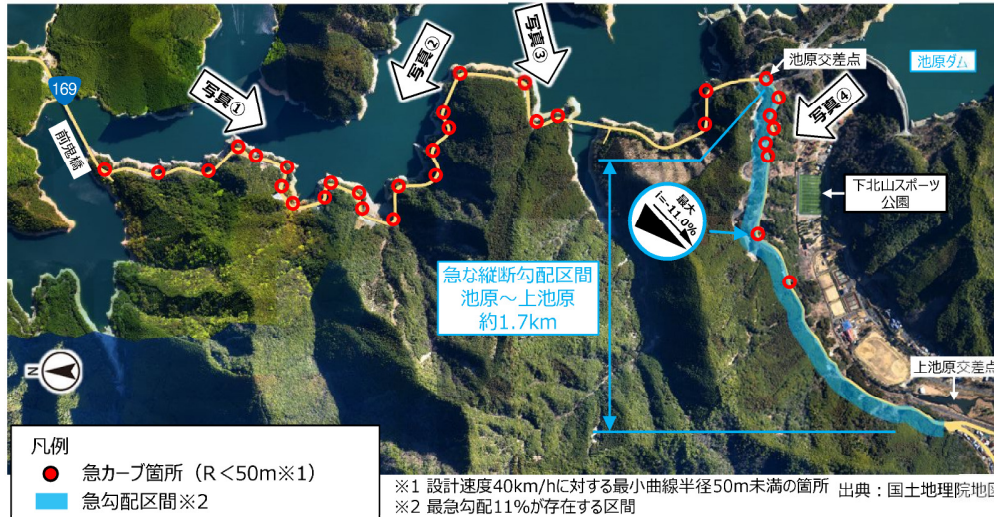


2.現地概要ならびに1月8日までの対応状況：道路の周辺状況

事故の発生した一般国道169号の当該区間周辺の状況

■一般国道169号（下北山村前鬼～上池原）の線形不良区間



■道路防災点検の結果、要対策箇所がある区間



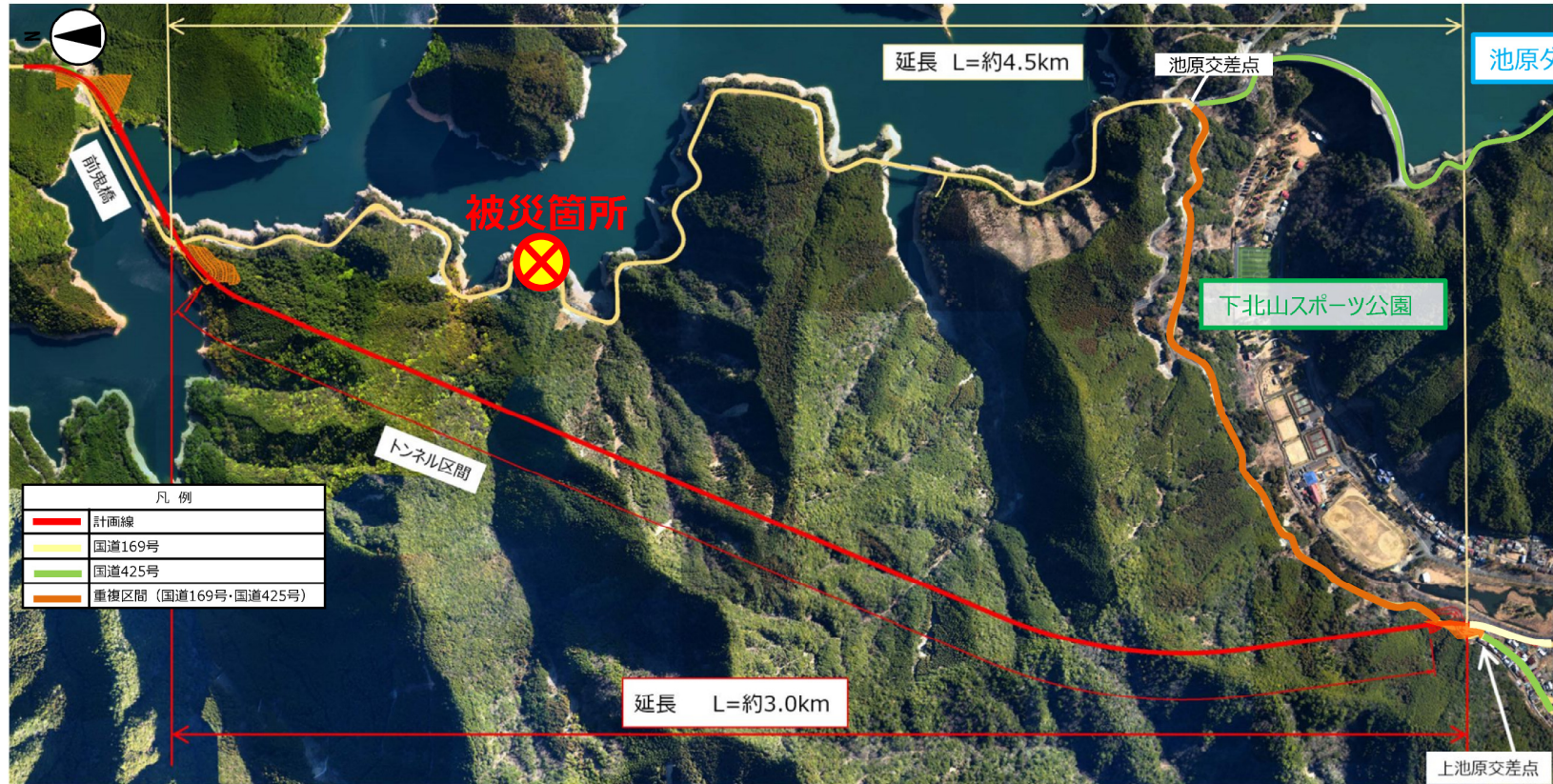
【大規模な法面崩土が発生】

R2.4.1 大規模な法面崩土発生
R2.6.24 暫定交通開放（片側交互通行）
→崩土発生から暫定交通開放までの約3ヶ月間、
国道168号への広域迂回
R3.11.25 対策完了後に全面交通開放

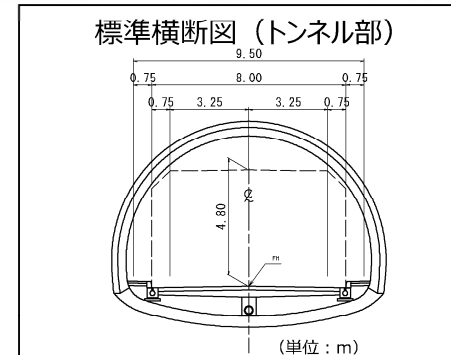
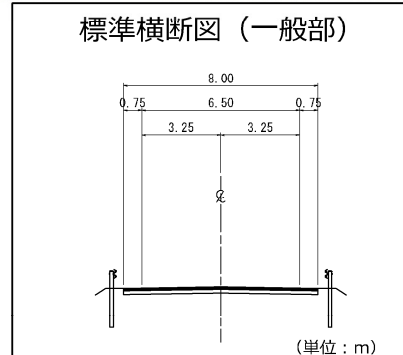


2.現地概要ならびに1月8日までの対応状況:169号の事業化について

一般国道169号（下北山村前鬼～上池原）の事業化ルート（案）



事業概要	
路線名	一般国道169号(仮称)下北山道路
事業区間	奈良県吉野郡下北山村前鬼～上池原
事業延長	L=3.0km
構造規格	第3種第2級
設計速度	V=60km/h
計画交通量	1,200台/日
車線数	2車線



2.現地概要ならびに1月8日までの対応状況:経緯(2023/12/26まで)

■ **経緯** 被災箇所における経緯一覧を以下に示す。

被災経緯一覧表

年・月・日	時間	内容	
R5.3.11	21時30分ごろ	吹付モルタル片の剥離	
R5.3.12		コンサルタント会社による緊急踏査実施	
R5.5.8		吹付モルタルが剥離し、道路へ土砂が流出	
R5.5.9		コンサルタント会社による緊急踏査実施	
R5.12.4		工事発注(R6.1より工事開始の予定)	
R5.12.23	21時04分	被災の通報、乗用車が巻き込まれ、50代男性が取り残された状態	
	21時15分	全面通行止を開始	
	22時	コンサルタント会社に緊急踏査を依頼	
	23時59分	奈良県建設業協会に災害対応活動を要請	
	0時09分	奈良県広域消防組合が救助活動を開始	
R5.12.24	0時45分	県道路マネジメント課が報道発表(第1報)	
	2時ごろ	コンサルタント会社が吉野土木事務所工務第二課(上北山村)に到着	
	2-3時ごろ	コンサルタント会社への状況説明および確認対応の指示	
	4時18分	50台男性が救助され、奈良県立医科大学付属病院へ搬送 前方に複数台の車両が巻き込まれている可能性が判明	
	5時30分	二次災害の恐れがあるため、現地での救助活動を中断	
	7時30分ごろ	コンサルタント会社による緊急現地踏査開始(北側道路沿い)	
	8時00分	近畿地方整備局ヘリ(きんぎ号)が八尾空港離陸(現地情報収集)	
	8時15分ごろ	UAV空撮写真により、崩壊地内に亀裂が確認	
	8時30分	コンサルタント会社による調査結果速報提出 ・法肩付近には亀裂が存在するため、二次崩壊発生の可能性があり崩壊地内への立入りは危険である旨を報告	
	11時00分ごろ	大西有三京都大学名誉教授(近畿地方整備局任命の道路防災ドクター)による現地状況確認 ・今回の現象は「岩盤崩壊」と推定 ・「凍結融解の影響」を示唆 ・崩壊の発生予測は困難と評価 ・人命救助にあたり、二次災害の危険性を指摘	
	13時ごろ	法面上部の不安定な土石の除去作業開始	
	13:30	県道路マネジメント課が報道発表(第2報)	
	15時	コンサルタント会社による調査結果速報更新 ・防災ドクターによる所見を追記	
	R5.12.25	10時30分	コンサルタント会社による斜面上部の現地踏査開始
		14時	不安定岩塊の崩落(二次被害)の影響を考慮し、南側の規制ラインを約50m後退
15時30分		コンサルタント会社による調査結果速報更新 ・崩壊地周辺には亀裂や岩盤の緩みが顕著に認められた(①) ・人命救助にあたって除去すべき不安定岩塊が存在(②、③、④)	
18時		ロッククライミングマンによる不安定岩塊の除去作業開始	
22時		コンサルタント会社による調査結果速報更新 ・現地状況写真の追加	

